

平成14年度ホタテガイ採苗情報(第10報)

平成14年7月9日
 発行:岩手県水産技術センター
 協力機関:沿岸地方振興局水産部

「唐丹湾では、採苗器1袋当たり2,300個の付着。」

1 稚貝の付着状況

水深10m層に、4月16日から約3ヶ月間、5月15日から約2ヶ月間、6月13日から約1ヶ月にわたり垂下した採苗器の付着状況を調べました。付着数は、それぞれ2,300個/袋、2,217個/袋、10個/袋でした。

4月16日および5月15日に投入した採苗器では、最苗数の非常に多かった平成11年(付着数:11,500個/袋)や平成13年(付着数:5,226個/袋)には及ばないものの、例年を上回る付着数でした。

また、その付着稚貝は、殻長6mm未満のものが主体ですが、大型個体も殻長6mm以上が4月16日投入で約770個、5月15日投入で約210個と必要数以上付着しています。

なお、害敵生物は、4月16日に投入した最苗器に、コツムシが2個/袋確認されただけでした。

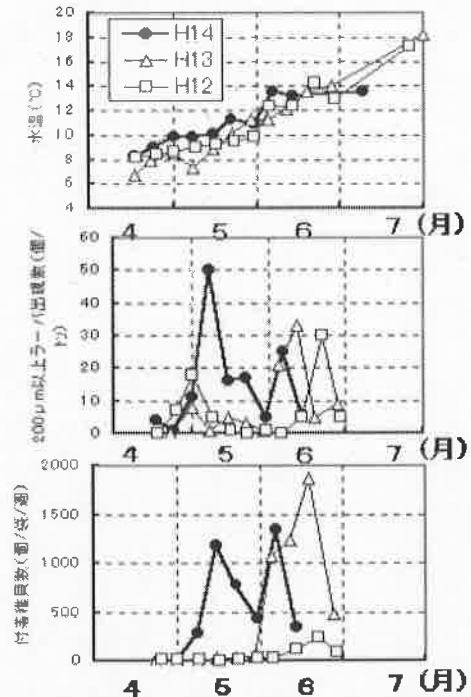


図 唐丹湾における水深10m層水温およびホタテガイラーバ・付着稚貝の出現状況

2 付着盛期と採苗器の投入適期

これまでの付着稚貝数の推移および今回の調査結果から、今年の釜石地区における付着のピークは5月中旬および6月上旬の2回あり、採苗器の投入適期は5月上旬であったと考えられます。

唐丹湾のように付着稚貝数が多い地区では、採苗器内で稚貝の成長が停滞する可能性があります。付着稚貝の数およびサイズを十分に把握した上で、早めに分散するようにしましょう。

また、稚貝の採取にあたっては、投入した最苗器全てから、できるだけ大きい個体を選ぶようにしましょう。

表 唐丹湾におけるホタテガイ稚貝の付着状況(平成14年7月8日)

投入月日	付着稚貝(個/袋)						計
	1~2mm	~4mm	~6mm	~8mm	~10mm	10mm~	
4月16日	68	427	1,035	668	95	7	2,300
5月15日	192	903	911	212	0	0	2,217
6月13日	2	8	0	0	0	0	10

注 殻長1mm以上の個体について測定

なお、今期の採苗状況調査は、今回で終了となります。
 ご協力ありがとうございました。